

蒼

souten

天

’09 第3号 (秋号) 通巻33号

発行日 2009年10月1日

社会福祉法人 青空会

生活介護事業所あおぞら

〒852-8143

長崎市川平町1074-11

TEL 095-843-9001

FAX 095-843-8203

メール aozora@sa8.gyao.ne.jp

ホームページ

<http://hwsa8.gyao.ne.jp/aozora/>

はじめに

9月9日、あおぞらの仲間の岡島奈保子さんが亡くなりました。

33年の短すぎる生涯でした。しかし、その間、結節硬化症という難病との闘いをがんばり抜きました。昨年の夏頃より疲れた様子が目立つようになり、徐々に通所回数が減少し、6月初旬すぎからは自宅でご両親との安らかな時間を過ごしていました。何度も危機を告げられては跳ね返し、この夏を乗り越えることが出来たから来年が見えてきそうだと密かな望みを託した矢先でした。ご両親に看取られ、飄然と旅立ってしまいました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

障がい者自立支援法が廃止になりました。新しい法の概要は早晚提示されるでしょうが、当事者を交え、その意見を十分に反映させる内容であって欲しいと思います。前法のようにごり押しで成立させるのではなく、精査に精査を重ね、じっくり時間をかけて取り組まれることを期待しています。

梨狩り

9月16日(水) -快晴- 島原へ親子バス旅行に行ってきました。

長崎に住んでいても、なかなか島原方面に行く機会に恵まれていない私は、バスの中から普賢岳や島原城が見えると感動しきりでした。バスの中では、歌を歌ったり、お母さん方の会話が弾んだり、たいへん賑やかでした。

昼食は水無本陣で具雑煮を食べました。ここは、1991年の平成新山の火噴火で大きな被害を被った場所で、土石流被災家屋保存公園や、火砕流体験館などもあり、見学したり、お土産屋を覗いたり、のんびりした一時を楽しみました。

梨狩りは初体験の方が多く、梨園の方の説明を受けたあと梨園へ。袋に入ったままの梨を手

でちぎり採ります。そっと持ち上げて大きさを確かめながらちぎりましたが、何故かドキドキ。ニイタカと言う種類の梨でしゃきしゃき感が有り甘くて美味しく頂きました。

楽しい旅行が出来ましたことに感謝します。ありがとうございました。 (吉村 記)

新職員紹介

あおぞらに、7月から生活支援員としてお世話になっております。松尾博之です。

前職は、県民ボランティア活動支援センターで、NPO・ボランティアの活動支援(ボランティアのコーディネート、活動相談、情報収集・発信など)をやっていました。

あおぞらも含め、福祉施設で働くのは初めてなので、毎日が大変で勉強の日々です。(何をどうしたらいいのか分からない時が…。)しかし、あおぞらのみんなが温かく迎えてくれたので楽しい毎日を過ごしています。

この間の梨狩りでは、大切なカメラを落としてしまいへこんでいたのですが、何とか無事に戻ってきたのでひと安心です。(レンタカーに落ちていました)

こんな感じで抜けているところが多々ありますが頑張っていきたいと思います。これからもよろしく願いいたします。

あおぞら日記

- 7月 1日 ポニーランド長崎と交流会。
- 3日 大学病院P通院 (Iさん)。
- 4日 唐比ハス園見学。
- 7日 七夕。家族会。
- 8日 大学特殊歯科通院 (Mさん)。Iさん誕生会。
- 9日 音楽教室。
- 11日 Uさん誕生会。
- 14日 整体。
- 15日 給料評価会議。
- 17日 エアロビ (久保さん+サントピア学園の仲間達)。
ケアホーム「りんどう」見学。Tさんと利用契約を結ぶ。
- 18日 ドライブ (出島ワーフ)。
- 22日 絵画教室。県立美術館見学。乗馬。高校野球長崎県予選見学。
- 23日 楠田歯科受診 (Nさん・Uさん)。Tさん誕生会。
- 24日 下田研修。給料日。
- 25日 研修 (宮嶋)。
- 27日 月例職員会議 I。
- 28日 整体。月例職員会議 II。
- 29日 外食 (浜勝)。

- 30日 大学病院P通院（Iさん）。
- 31日 壁画制作。
- 8月 1日 海水浴・バーベキュー。（尻久砂里浜崖崩れのため四本堂公園へ場所を移す）。
- 4日 家族会。県障害福祉課出前講座（利用者＋家族＋職員）。
- 5日 諫早養護学校より見学（3名）。大学特殊歯科通院（Mさん）。
- 7日 聖トマス大学鳥居教授ミニ講演。
- 8日 Sさん誕生会。
- 10日 S-M 社会生活能力検査会議。Iさん誕生会。
- 11日 整体。はあと屋会議（福島）。
- 長崎大学教育学部特別支援学校保護者の見学（4名）。
- 12日 絵画教室。楠田歯科通院（Sさん）。
- 13日～15日（盆休み）
- 19日 楠田歯科通院（Nさん・Sさん・Yさん）。
- 20日 給料評価会議。月例職員会議。
- 21日 エアロビ（久保さん＋サントピア学園の仲間達）。
- 22日 春待ちファミリーバンドコンサート。
- 25日 整体。Oさん誕生会。給料日。
- 26日 絵画教室。ピザパーティ。風船バレー会議（福島）。
- 28日 楠田歯科通院（Nさん・Sさん・Yさん）。
- 9月 1日 家族会。
- 3日 楠田歯科通院（Sさん）。
- 5日 Tさん誕生会（ジョイフル）。
- 7日 あおぞら美容室。
- 8日 整体。
- 9日 絵画教室。Oさん逝去。
- 11日 Oさん告別式（全員参加）。
- 15日 大学特殊歯科通院（Mさん）。はあと屋会議（福島）。
- 16日 親子バス旅行（島原梨狩りの旅）。
- 17日 楠田歯科通院（Nさん・Sさん）。給料評価会議。
- 26日 ドライブ（彼岸花見物・鉢巻山、大村空港）。
- 28・29日 月例職員会議。ケース会議。
- 30日 外食（ジョイフル）。

*（毎週）水曜日は乗馬。木曜日は音楽教室。金曜日はプール遊泳。土曜日は公民館清掃。

チャレンジドショップ「はあと屋」

ベルナード観光通りで、市内の事業所・施設で作った商品を販売しています。あおぞらもオリジナルのリサイクルキャンドルと委託販売の粉・固形石けんと、新しく福祉の里・松浦制作所の商

品でキャラクターを「龍馬」にしたハタ(外用・室内用)とストラップを販売させていただくことになりました。是非お買い求めくださいますようお願いいたします。



ひめ日誌

こんなに暑い日が続くと参っちゃいますよね。やっと朝夕しのぎやすくなってきましたが、昼間は時々水をかけてもらって一時の涼を楽しんでいます。

先日、開所から毎年バレンタインデーやクリスマスには必ず、あおぞらの仲間一人一人にプレゼント贈ってくれる根上伸子さんが会いに来てくれました。本当の目的は「チャゲのコンサート」だけど、とても懐かしかったです。1歳になる前に御殿場に会いに行きましたが、それ以来で頑張り屋のパワフルおばちゃんです。

奈保子さん追悼

あおぞらでの15年を振り返ってみたいと、25冊の連絡帳をひもときました。一部をご紹介します。彼女を偲んでいただきたいと思います。

平成7年4月5日

(あおぞらから)

朝の散歩から帰ると、室内をうろうろしたり、こたつに潜り込んだりして過ごしました。いろいろひっくり返したり破いたりとなかなかのいたずらです。午前中30分、午後1時間ほど寝ています。おやつは食べずに、うとうと始めました。私どももばたばたで、一対一でほとんどかまって上げられない状態ですので、彼女にとっては少々つまらないかも知れません。生活の流れがつかめて、ここのお友達との関係もあれば、又違った行動も出てくるでしょうね。

(家族から)

今の奈保子のいたずらは序の口で、次第に工房の様子が判ってくるというんな物を持ち出したり、引っ張り出して来て、皆を振り回すことになるかも知れませんね。家の中でボーッと過ごすより、皆の中でボーッと過ごすことの方が、奈保子にとって良いことではないかと思っています。親子で一日過ごすよりも、私達以外のお友達の声を聞いて過ごすことの方が、それなりに刺激を受けていると思いますし、幸せなのではないかと思っています。

平成10年2月3日

(あおぞらより)

今日はシクラメンの花や葉をちぎり捨てて、私から手をピンとされ叱られました。その後も花に手がいくので、私が「ダメヨ」と言うと、自分で手の甲をピンしていました。とても元気です。

(家族より)

叱られていると一応は判っているみたいですが、ほんの一時で、手は次のいたずらをしていて怒られるといった風で、奈保子といたちごっこしているようです。シクラメンの綺麗な花も無残な形になってしまっているのではないのでしょうか。今もウロウロ、次はどんないたずら进行しようかと思っているみたいに歩き回っています。

平成13年8月29日

(あおぞらより)

きょうはねむくて、一日ほとんど寝ています。お昼で起こすとボーッとしていたので、ビニール袋をガサガサさせると、ガバツと立ち上がり、お弁当をペロリと平らげました。散歩にも行かず、ソファで爆睡。2:00 過ぎにジョロジョロとどこかで水の音…たっぴりの奈保子ちゃんのおねしょでした。無理に起こすとムツとしていましたが、風呂場に連れて行きシャワーで洗っているとやっと目覚めました。

(家族より)

今日はおしっこ漏らしすみません。このところ眠くて眠くてしょうがない様子で、昨日は夜 10 時から朝までグッスリ。朝起きてきたものの力なさそうで眠そうな様子でした。今日は家に帰ってくると、リュックをおぶったまま台所で横になると、グッスリ。移動させることが出来ないのもそのまま寝かせておくと、夕食時までグッスリでした。夕食時、体を突つくと、夕食だと思ったようで、起きて夕食を食べ終わると洋間のソファでまたグッスリ。お風呂もやっとの事で入りました。今も布団の中でグッスリ。

平成16年4月2日

(あおぞらから)

28歳のお誕生日おめでとうございます。

お昼はマクドナルドの日。眼をきよろきよろさせながら素早く食べて、もっともっとという眼をしていました。誕生日のケーキは大好きなチョコレートケーキにしたのですが、昼食食べすぎたのか口にせず…。せっかくの日なのに残念。タッパにいれて持たせます。

(家族から)

お誕生日ありがとうございました。持って帰ってきたケーキをおやつに出してあげると、食べてしまいました。夕食は奈保子の好物ばかり用意しました。折角の誕生日なのでちらし寿司もと出すと、上に乗っている卵やのりを突ついただけで、御飯には目もくれずおかずばかり勢いよく食べてしまいました。

平成20年6月14日

(あおぞらから)

10:30 大量にすっきり排便。出ました～！長～い便秘でしたね。安心しました。

今日は水分摂取量も多く、食欲も旺盛で、声も元気に出ています。

(家族より)

3日ぶりの排便だったので、すごいことだったと思います。恐縮です。

家に帰ってきてからも2回排便しました。お腹がすっきりした様で、家に帰ってきてからも大きな声を上げ、

笑いも動きも多くて機嫌良いのを通り越して、テンション高すぎる程でした。予兆だったので、風呂に入っているときに大きな発作を起こし、その後少し静かになってしまいました。

平成7年4月から毎日の連絡内容を読み進んでいきますと、様々な泣き笑いが甦ってきます。ご家族の意に添えられなかった場面や、もっともっと多くの関わりを持って楽しませてあげられなかった無念さ、これらの思いを、これからのあおぞらを背負っていく職員達にしっかりと伝え、生かしてもらいたいと思っています。もう一度、髪の毛を引っ張られて、頭を抱え込まれて、ぎゅっと抱きしめられたいな。



「あおぞらへのご援助の一覧」(7月~10月)

青山清見様。高口信弘様。鉄本浩一郎様。天領会様。松浦篤久様。野花菜様。本間悦子様。
篠崎春代様。根上伸子様。岩瀬恵子様。岡田様。

編集後記

あおぞらの周辺は曼珠沙華が目を楽しませてくれています。白い花が多く、赤が彩りを添えています。温暖化の影響でしょうか昨年より小振りで数も少ないようです。曼珠沙華が100万本群生している大村市の鉢巻山に皆で出掛けました。少し早かったのか、例年ほど圧倒される感動が乏しかったように感じました。今月は白木峰のコスモスを愛でてこようと思っています。昨年撮った、身の丈以上のコスモスに埋もれてはにかむ奈保子さんの写真が、皆を見守っています。あおぞらにも彼女の魂が宿っていると信じています。

音楽の荒木真奈美さんが、7月31日無事に男の子を出産されました。目鼻立ちのはっきりした元気な良太君です。

後援会

会 員	正会員、賛助会員	会 費	正会員《一人月額(一口)千円》
送り先	あおぞら後援会会長		
銀行振込み	(親和銀行住吉支店)	普通預金	6203089
郵便振替口座	01790-8-293		

異人種参上

日の丸が嫌いな人がいる。サッカーのワールドカップやオリンピックの日の丸に抵抗する人は少なからうが、戦争に利用されたのは事実だし、右翼の街宣でも定番だ。国旗自体に罪は無いとはいえ、不幸な出会いをした人にわだかまりが残るのは、致し方ない。

私にとって福祉とは、不幸な出会いをした人の君が代、日の丸に近い。本来、福祉は人々の善意で社会を円滑にするものとの認識があったが、その思いをあざ笑うかのような形で現実と関わってしまった。

30歳のとき、社会福祉主事として仕事をすることがある。社会福祉主事とは、「人格が高潔で、思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ、ウヌマン」と社会福祉法に記されている。しかし、辞令一つで配属される職員に人格や思慮や福祉への熱意を求められても困る。出だしのところから嘘がある、というのが私の第一印象である。そして、現実の仕事となると精神障害者や犯罪歴のある人とも関わることになった。福祉に志があるならともかく、人生経験の無い若造につとまらないだろう、こんな仕事。

私にとって福祉の原始的なイメージは、ホームレスに対する炊き出し。その想いに賛同して、炊き出しの手伝いや募金などで協力を申し出ること。これならば、大上段に人格や思慮などと構えないで、個々人の想いを自然に表現できる。そして、それらを補完することで行政が関わればよいと思っていた。

ところが福祉を行政主導で行えば、いかに公平に実施するかがテーマになる。大筋のところ定められた基準でいいとしても、生身の人間に法律を適用するとさまざまな矛盾が生じ、一般的な常識や関わる人々の気持ちは無視されることになる。意見を求めた民生委員から「おかしいのではないかと指摘されても、内心、民生委員と同じ意見なのだから否定できない。それでもおかしいことを実施せざるを得ない。そして、福祉を食い物にする福祉的精神から最も遠い人々の存在。

矛盾や理不尽はこの世の常とはいえ、私はそのような事柄に耐性が無いと理解した。結果、福祉との関わりをできるだけ避けたいと思うようになった。

そもそも、私は洗面所で手を洗えば、シャツの袖や裾、あるいはズボンが自然に濡れるタイプである。カミさんから、何で濡らすのかと問われても、濡らす意図はないので、濡らすのではなく、勝手に濡れているだけだ、と強弁している。生活全般にわたってこの調子だから、どちらかといえば面倒を見てもらう側の人間なのである。

ところが何の因果か、「あおぞら」に関わり、こうして蒼天でコラムを書くはめになってしまった。宮嶋さんの人格が、福祉に対する不幸な出会いを払拭してやるといったのかな。ならば、しばらくお付き合いをしてみようか。私のキャラでは、人様のお世話をするという意味では使い物にならないが、事務処理関係の仕事ならできる。

私が参画することで、宮嶋さんの雑務が軽減され、「あおぞら」の将来展望に道筋をつけることができればいいのだが。

下田啓詞